

## 2024 年度 第 2 学期試験問題および解説 社会心理学 II

担当者: 横山智哉

### 試験問題と採点基準

以下に、第 2 学期試験問題とその問題の正解および採点基準を示す。実際の採点では各要素が説明されていない程度に応じて点数を低くした。

#### 問 1

政党帰属意識 (Party Identification) について、以下の各設問に答えなさい。

- (1) 政党帰属意識の定義について、準拋集団理論に基づき説明しなさい。分量は 3 行程度を目安とする。(5 点)
  - 態度や判断の拠り所としての政党 [2 点]
  - 特定政党に対する心理的・感情的愛着 [3 点]
- (2) 政党帰属意識の 5 つの特徴について、授業内で扱った内容に基づき説明しなさい。分量は 5~7 行程度を目安とする。(15 点)
  - 遍在性、安定性、規定性、回帰性、一次元性という各特徴を適切に記述できている [各 3 点]
- (3) Fiorina (1981) が定式化した経済学モデルは、政党帰属意識の特徴に関するある前提を修正した。そこで、どのような特徴が修正され、その修正により、有権者のどのような投票行動が明らかになり、結果的に有権者像がどのように変化したのかをそれぞれ説明しなさい。分量は 13~15 行程度を目安とする。(25 点)
  1. PID の柔軟性
    - 計算記録 (running tally) としての PID [5 点]
  2. 業績評価投票 (計 10 点)
    - 経済状態の良し悪しに基づき投票政党を選択するという経済投票 [8 点]
    - 社会志向 / 個人志向の経済投票 [2 点]
  3. 合理的市民像の再構築
    - 経済投票が民主的アカウンタビリティを (部分的に) 機能させる [10 点]

#### 問 2

ヒューリスティクス (Heuristics) について、以下の各設問に答えなさい。

- (1) 授業では、選挙ポスターに含まれる「自民党」のロゴ (つまり、政党ラベル) に着目し、同じ政党の立候補者でもその政党ラベルの大きさが変化することを例示した。

さて、なぜこのような現象が起こるのか。まず、ヒューリスティクスの定義を説明した上で、ヒューリスティクスの議論を踏まえて、上記の現象が生じる理由を説明しなさい。分量は9～11行程度を目安とする。(20点)

1. ヒューリスティクスの定義
  - 限られた政治知識量においても、効率的な推論や判断を行う際に用いる手がかかり [10点]
2. 政党ラベルの大きさが変化する現象
  - ヒューリスティックとしての役割を果たす政党ラベルに基づき、上記の現象を適切に説明できている [10点]

(2) 授業では、党派性とイデオロギーという2つのヒューリスティクスを扱った。そこで、それら以外の新たなヒューリスティクスを自由に考案しなさい。そして、あなたが考えたヒューリスティクスが人々の政治的な意思決定にどのような影響を及ぼすのかというメカニズムを説明しなさい。分量は9～11行程度を目安とする。(20点)

1. 新たなヒューリスティックの考案
  - 考案したヒューリスティックの着眼点の面白さ [10点]
2. 意思決定を促すメカニズム
  - 考案したヒューリスティックに基づき、人々の政治的意思決定を促進するメカニズムを適切に説明できている [10点]

#### 学期末試験の講評

各設問で問われていることに正しく答えていない記述が散見されました。たとえば、問2(1)では、同じ政党の立候補者の中でも政党ラベルの大きさが変化する理由を論じる必要があります。一方で、異なる政党の立候補者や、候補者とは一切関係ない要因から上記の理由を説明する記述が多くありました。今後は、設問文で何を問われているのかを考えて回答できれば、より高い点数が期待できると思います。

最終的な成績評価を行う際には、全ての回答者の点数を考慮した上で点数調整を行いました。その際には、ある一定の範囲の中で整数の値を加算し、C評価とF評価の割合が最も減る値(つまり、単位を取得できない人の割合が最も減る値)を採用しました。

#### 改訂履歴

第1版 2025年1月31日

以上